



大庭申だより

2020年(令和2年)9月3日

藤沢市立大庭中学校

校長 千葉 雄一

夏休みが終わり前期の後半が始まりました！

8月24日、放送による朝会で次のような話をいたしました。

生徒の皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルス感染症の関係で、例年より早く夏休みが終わり、今日から学校が始まりました。引き続き、感染症対策の徹底と熱中症にも気をつけて学校生活を送っていきましょう。

夏休みに入る前、中体連の交流戦が行われました。どの部も3年生を中心にしたチーム編成で、生徒の皆さんの表情やプレーからは久しぶりに試合ができる喜びが溢れているように感じました。この夏に県大会や関東大会、全国大会をめざして、頑張ってきた3年生にとっては、とても残念で悔しい夏になってしまいましたが、これ乗り越え人生の糧にしてもらいたいと考えています。

さて、話は変わりますが、4月の大庭申だよりに、生徒の皆さんにめざしてもらいたい生徒像を3つあげましたが、覚えていますか？

覚えている人は少ないと思いますので、もう一度確認したいと思います。

1つ目は「言われなくても自ら進んで行動できる生徒」です。

2つ目は「善悪の区別を適切に判断できる生徒」です。

3つ目は「前向きに努力しよりよい自分を築いていける生徒」になります。

今日は、この中から1つ目の「言われなくても自ら進んで行動できる生徒」について話をしたいと思います。

いま、あなたは、言われなくてもできる人、言われればできる人、言われてもできない人のどれにあてはまりますか？

例えば、散らかっている自分の部屋の片付けについて、あなたは次のうちどれですか？

①家の人から、言われなくても進んでやる。

②家の人から言われればやる。

③家の人から言われてもやらない。

おそらくこの中では、言われればできる人がいちばん多いのではないかと思います。人から言われてやるのは、あまり気持ちの良いものではないですね。何でもそうですが、自分が気づいたことは、言われる前に進んでやってしまった方が気持ち良くありませんか？生徒の皆さんには、常日頃から学校や地域、家庭においても、言われなくても自ら進んで行動できるように心がけ、自主性のある人になってほしいと願っています。

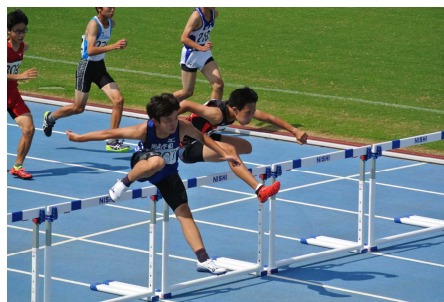
○生徒の活動の様子



7/28 1年生「情報モラル教室」



8/22.23 藤沢市中学校陸上競技大会



8/22.23 藤沢市中学校陸上競技大会



8/27 8組農芸・収穫の様子

学校生活アンケートから

藤沢市教育委員会が各小中学校で毎年行っている「学校生活についてのアンケート」を本校でも過日実施いたしました。

- * 『学校は楽しいですか』という問いに対して「楽しい」と「まあまあ楽しい」と回答した生徒の割合は、1年 96.3% 2年 92.5% 3年 92.4% という結果になりました。
- * 『どんなことをされて嫌いな気持ちになったか』という問いでは「冷やかしゃからかい悪口を言われて嫌いな気持ちになったことがある」と答えた生徒がどの学年にもいました。
- * 『周りの人が嫌いな気持ちになるようなことを言ったりしたことがあるか』という問いでは「冷やかしゃからかい悪口を言ったことがある」と答えた生徒がいました。また、『どんなことをしている人を見たり聞いたりしたことがあるか』という問いでは「冷やかしゃからかい悪口を言っている人を見たり聞いたりしたことがある」と答えた生徒の数が多くなっていました。
- * 自由記述欄に書かれていたコロナ禍における生徒の気持ち
 - ・ハケ岳に行かれるか不安だ。
 - ・これ以上、行事がなくなってしまうか不安だし心配。
 - ・みんなと過ごす時間が短くなって悲しい。
 - ・まだクラスみんなと距離を感じるから仲良くなりたい。
 - ・また、休校になってしまうのではと不安。
 - ・学習の遅れが心配。
 - ・普通の生活に戻れるのか不安。

6月から学校が再開されましたが、どの学年のどの生徒も再開後の学校生活は概ね楽しと感じているようです。しかしながら、生徒は自由記述欄にあるような、コロナ禍でのさまざまな不安を抱えながら学校生活を送っていることも確かなようです。学校といたしましては、こうした生徒の思いや不安に寄り添いながら「学校の新しい生活様式」のもとで、今後も教育課程を編成していきたいと考えております。また、学校生活が始まればアンケートにあるような、悪口を言った言われたというようなトラブルも起こってきます。また、SNS 上でこうしたことが行われていることも考えられます。このようなことが「いじめ」に発展しないように、学校としても気をつけていきたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、SNS 上でのトラブルがないように、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

校内にある絵画

大庭中には、校舎内のいろいろなところに絵が飾ってあると思いませんか？どうして大庭中に、たくさん絵があるのかというと、それは本校の2つ前の校長であられた遠藤冬実先生が地域の方や藤沢に縁のある画家にお願いして寄贈していただいたからです。遠藤先生は真・善・美に感動する体験を通して、本校の学校目標である「豊かな心の育成」をめざされていました。遠藤先生はいつも「今日、何か美しいものを見ましたか」と朝会で生徒に語りかけていらっしゃいました。また、居心地の良い学校をめざして、心休まる環境づくりに取り組んでおられました。そういうことから、遠藤先生は、できるだけたくさん絵を校舎内に飾ろうとお考えになられたのだと思います。

今回は、その中から南棟西階段踊り場等に展示されている後藤精弥さんの作品について紹介したいと思います。新潟県出身の後藤精弥さんは1931年（昭和6年）生まれで、2016年（平成28年）に亡くなられています。後藤精弥さんは画家としても有名ですが、ゴトウユニットと呼ばれるホン型スピーカーを作成していた技術者としても有名で、まさに画家と技術者の二刀流の方でした。洋画家の岡鹿之助に師事し点描画の手法を学んだようです。点描画と言えば、19世紀のフランスの画家、ジョルジュ・スーラの作品が頭に浮かびますが皆さんはどうですか？



秋の変電所



午後の漁港



河岸の城 (ラインシュタイン城)